

(単位：千円)

決算書 (P344～P345)	10款3項3目 学校建設費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校大規模改造事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
547,722	119,831	20,854		79,000	19,449 (繰越金)	528
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
355,814	72,077			72,077		

【目的】

経年劣化した施設及び設備の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、あわせて建物の耐久性を確保し、生徒の安全・安心の確保及び快適な教育環境の整備を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

直江津中学校(校舎第Ⅰ期工事)の大規模改造工事及び柿崎中学校の改修設計を完了する。

○実施内容、これまでの経過等

事業内容

学校名	建物区分	執行額	うち繰越明許	うち当初予算	主な工事内容
直江津中学校	校舎	119,303	119,303	0	外壁、屋上 空調、給水改修 (校舎第Ⅰ期工事)
柿崎中学校	校舎	528	0	528	改修工事設計業務 全体計画変更認定申請業務
合計		119,831	119,303	528	

○目標達成状況

直江津中学校(校舎第Ⅰ期工事)の大規模改造工事は、国から令和3年2月に学校施設環境改善交付金の内定を受けたことから、令和3年度繰越事業として工事を実施し、予定どおり完了した。

また、柿崎中学校の改修設計を、予定どおり完了した。

決算書 (P344～P345)	10款3項3目 学校建設費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校大規模改造事業		



外壁改修の状況（直江津中学校校舎）

《令和4年度繰越事業》

国の補正予算による学校施設環境改善交付金の内定を受け、令和4年3月の補正予算で対応した事業は、令和3年度内の完了が困難なことから令和4年度に繰り越した。

(財源内訳)

項目	金額
国庫支出金	64,283
市債	239,900
一般財源	51,631
合計	355,814

(事業内容)

学校名	建物区分	繰越額	主な工事内容
直江津中学校	校舎	253,646	外壁、防水、トイレ改修等（校舎第Ⅱ期工事）
大潟町中学校	校舎	102,168	外壁、暖房改修等
合計		355,814	

【事業の成果】

老朽化した建物や設備の大規模改造を行い、学習環境の整備を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

直江津中学校（校舎第Ⅱ期工事）及び大潟町中学校の大規模改造工事については、国から令和4年1月に学校施設環境改善交付金の内定を受けたことから、令和4年度繰越事業として実施する。

【執行残額について】

○入札差金 72,077
・工事請負費

(単位：千円)

決算書 (P344～P345)	10 款 3 項 3 目 学校建設費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校給食室改修事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,353	2,970					2,970
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	383			383		

【目的】

安全・安心な給食を提供するため、給食施設の環境整備を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 3 年度目標

城東中学校給食室の改修設計を完了する。

○実施内容、これまでの経過等

《経費内訳》

項目		執行額	内容
委託料	実施設計委託	2,970	城東中学校給食室改修実施設計業務

○目標達成状況

城東中学校給食室の改修設計を、予定どおり完了した。

中学校給食室のドライシステム導入状況 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

中学校の 単独調理場	計面前から ドライシステム 導入校	学校施設整備計画 (H24～R3) 登載の給食室改修校 計	令和 3 年度末 改修完了	
			令和 4 年度 以降改修検討	
19 校	7 校	12 校	6 校	6 校

※文部科学省の「学校給食衛生管理基準」では、学校給食施設及び設備の整備においては「ドライシステムを導入するよう努めること」とされ、また、ドライシステムを導入していない調理場においては「ドライ運用を図ること」と定められている。

※ドライシステムでは、床面が乾燥した状態のため室内湿度が低く保たれ、細菌の繁殖を抑えることができる。また、調理員は軽装で作業をすることができ、作業環境や効率が向上する。

決算書 (P344～P345)	10 款 3 項 3 目 学校建設費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校給食室改修事業		

【事業の成果】

老朽化した給食施設の改修とドライ化のための実施設計を進め、安全・安心な給食を提供するための施設・設備の充実に向けて進捗を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

設計に基づく工事に当たっては、学習環境への影響を最小限にとどめ、計画的に、安全かつ速やかに進める。

【執行残額について】

○入札差金 383
・委託料

(単位：千円)

決算書 (P346～P347)	10款4項1目 幼稚園費	所管課等	学校教育課
事業名	幼稚園一般教材費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
410	260					260
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	150					150

【目的】

市立高田幼稚園において、園児の学習に必要な教材消耗品及び教材備品を購入し、教育環境の充実を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

幼稚園の要望や必要性を踏まえた教材の整備を行うことで、園児が効果的に学習できる環境を整備する。

○実施内容、これまでの経過等

トナー、コピー用紙、文房具、絵本等、幼稚園運営に必要な教材を購入した。

項目	令和2年度	令和3年度	比較	内容
消耗品費	516	187	△329	コピー用紙、文房具ほか
教材備品購入費	0	73	73	セーフティマット
合計	516	260	△256	

○目標達成状況

必要な教材を整備し、園児が効果的に学習できる環境を整備した。

【事業の成果】

必要な教材を幼稚園へ配置し、円滑な学習活動と教育内容の充実を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も幼稚園と連携して計画的に教材の整備を継続していく必要がある。

【執行残額について】

○その他 150

- ・消耗品費 138
- ・教材備品購入費 12

(単位：千円)

決算書 (P346～P347)	10款4項1目 幼稚園費	所管課等	教育総務課
事業名	幼稚園施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,619	6,290					6,290
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	329				329	

【目的】

高田幼稚園において、適切な施設の維持管理を行い、園児が安全で安心して幼稚園生活を送ることができるよう教育環境を維持する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

項目		令和2年度	令和3年度	比較	内容
需用費	燃料費	1	3	2	除雪機用燃料
	光熱水費	1,658	1,766	108	電気、ガス、水道料金
	修繕料	1,391	996	△395	営繕修繕
役務費		59	60	1	暖房ボイラー始業前点検ほか
委託料		2,901	3,209	308	施設管理委託
使用料及び 賃借料	使用料	283	227	△56	公共下水道使用料
工事請負費		0	28	28	工事請負費
原材料費		10	1	△9	補修用材料
合計		6,303	6,290	△13	

【事業の成果】

幼稚園施設の整備・維持管理を適切に実施し、園児の安全性及び快適性を維持した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

園児の安全・安心のため、施設設備の維持管理委託や遊具の定期点検を実施するなど、教育環境の整備に努める。

決算書 (P 346～P 347)	10 款 4 項 1 目 幼稚園費	所管課等	教育総務課
事業名	幼稚園施設管理費		

【執行残額について】

○その他	329	
・光熱水費ほか	104	
・委託料	62	
・使用料	60	
・工事請負費	76	
・原材料費	27	

(単位：千円)

決算書 (P346～P347)	10款4項1目 幼稚園費	所管課等	教育総務課
事業名	幼稚園管理事務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,770	3,248		14			3,234
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	522			13	509	

【目的】

高田幼稚園の運営に必要な消耗品や事務用機器、物品等を整備し、幼稚園教育を円滑に実施する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

会計年度任用職員の任用、事務用機器等の借上げ、物品購入ほか

≪高田幼稚園の経費内訳≫

項目	令和2年度	令和3年度	比較	内容	
報酬	4,574	1,518	△3,056	養護助教諭報酬	
職員手当等	349	153	△196	養護助教諭期末手当	
共済費	882	272	△610	社会保険料、雇用保険料ほか	
旅費	108	75	△33	費用弁償、普通旅費	
需用費	139	154	15	管理用消耗品費	
役務費	通信運搬費	195	198	3	電話料、郵便料
	手数料	83	46	△37	ピアノ調律手数料
使用料及び賃借料	借上料	395	486	91	事務用機器借上料ほか
	使用料	267	260	△7	教育ネットワーク使用料ほか
備品購入費	120	72	△48	園児用椅子購入費	
負担金補助及び交付金	14	14	0	国公立幼稚園協会負担金	
合計	7,126	3,248	△3,878		

【事業の成果】

必要な物品の購入、機器の借上げ等により円滑な幼稚園運営に寄与した。

決算書 (P346～P347)	10款4項1目 幼稚園費	所管課等	教育総務課
事業名	幼稚園管理事務費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

事務機器のリース対応などを含め、計画的な備品整備を継続して実施していく。

【執行残額について】

- 入札差金 13
 - ・幼児教育、事務管理用備品購入費
- その他 509
 - ・報酬 255
 - ・共済費 38
 - ・旅費 102
 - ・手数料 16
 - ・複写機使用料 13
 - ・諸会議出席負担金ほか 85

(単位：千円)

決算書 (P348～P349)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年健全育成センター運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,320	16,121					16,121
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,199				1,199	

【目的】

- ・青少年問題の解決に向けて関係機関と連携を密にするとともに、街頭指導活動や環境浄化活動及び若者育成支援活動を通じて青少年の非行防止と健全育成を図る。
- ・青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るため、「地域の子どもは地域で育てる」ことに資する活動を行う「地域青少年育成会議」を支援する。

令和 3 年度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

青少年育成支援事業 7,336

○令和3年度目標

- ・街頭指導を効率的に実施するとともに、青少年の現状を理解するための研修を行い、青少年健全育成委員の資質向上を図る。
- ・困難を抱える若者の自立を支援するため、若者の居場所（F i t）を中核とした活動を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・青少年健全育成関係機関連絡協議会や若者育成支援活動団体ネットワーク会議を開催し、青少年の健全育成に関わる行政機関や団体間での情報交換を行うとともに、子ども・若者育成支援のための連携の在り方について協議を行った。
- ・青少年健全育成委員による指導実績や街頭指導アンケートの結果を基に、街頭指導コースや班編成の見直しを行ったほか、青少年の現状を理解するための研修を実施した。
- ・若者の居場所（F i t）において、ひきこもり状態から一歩外へ出るための支援などに継続して取り組むとともに、「上越市親の会」（年6回）、「ユースアドバイザー研修」（年5回）等を開催するなど、保護者支援を含めた若者育成支援事業の充実に努めた。

○目標達成状況

- ・警察や関係団体と連携した研修会を開催したことにより、委員の青少年への理解が深まり、指導力の向上が図られた。
- ・街頭指導について、青少年の実態により即した形へと体制を見直し、再編成することができた。
- ・若者の居場所（F i t）における支援の充実とPRの強化により、利用者は15人（延べ利用回数が227回）に増え、相談回数も305回となるなど、居場所の認知度がやや向上した。

決算書 (P348～P349)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年健全育成センター運営費		

地域青少年育成会議活動支援 8,785

○令和3年度目標

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を始めとする育成会議関係者に対し、地域と学校の連携・協働に対する研修等の機会を設ける。

○実施内容、これまでの経過等

- ・地域青少年育成会議協議会への交付金の交付及び各育成会議との意見交換などを通じ、青少年の健全育成に向けた地域ごとの活動を支援した。
- ・育成会議の広報紙「つなぐ」を年2回発行し、市ホームページへ掲載するとともに広報上越の配布にあわせて町内への回覧や公民館に配置した。
- ・12月から2月にかけて全ての地域青少年育成会議を訪問し、コロナ禍における事業実施方法や学校との連携状況などについて情報収集と意見交換を行った。
- ・Z o o mを活用して地域青少年育成会議協議会実践事例発表及び意見交換会を開催し、コロナ禍における各地域の活動について情報共有を図った。

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動に制限があったが、Z o o mを活用するなど、コロナ禍でもできる範囲で事業を実施することができた。

【事業の成果】

- ・青少年健全育成に関わる機関や団体間での協議を通して、各機関の役割や取組状況について相互理解を深め、連携した支援への基盤づくりができた。
- ・街頭指導の班編成やコース等の見直しを行ったことにより、重点を明確にした巡回指導へと改善することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域青少年育成会議が主催、共催、協力支援を行っている多くの事業が中止となり、交付金の減額が生じる団体もあったが、実践事例発表及び意見交換会を開催したほか、コロナ禍における各地域の活動状況を報告書にまとめ、関係者へ配布するなど、活動の継続や発展に資する取組ができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・街頭指導について、青少年の行動の変化に対応して指導内容や指導方法を一部改善したが、今後も状況の変化に合わせた見直しや研修をしていく必要がある。
- ・支援を必要としながら潜在している若者は依然として多いと考えられる。関係機関や団体との連携に取り組み、より多くの困難を抱える若者が若者の居場所（F i t）を利用できるよう、一層の周知を図る必要がある。
- ・地域学校協働活動推進員と学校関係者との合同での研修会の開催を検討し、地域と学校の連携・協働を推進する。
- ・対面形式での研修会だけでなく、インターネットを活用したリモート研修会を引き続き実施するなど、コロナ禍においてもできることを手段や方法を工夫しながら実施していく。

【執行残額について】

○その他 1,199

- ・交付金 735（各地域青少年育成会議の活動実績による残）
- ・報酬、職員手当等、旅費 ほか 464

(単位：千円)

決算書 (P348～P349)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	成人式運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,808	5,709					5,709
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	99			79	20	

【目的】

新成人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 3 年度目標

- ・新成人が恩師や旧友との再会を通して、自らが生まれ育った郷土への思いを深めるとともに、成人したことの自覚と自立を促す機会とする。
- ・出席率：70%

○実施内容、これまでの経過等

- ・開催日 令和 3 年 11 月 20 日(土) 午後 1 時 30 分～2 時 40 分
- ・会場 リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
- ・対象 平成 12 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた人
- ・出席者

年度	対象者	出席者	出席率
R3	2,046 人	1,170 人	57.2%
R2	2,083 人	中止	-
H31	2,058 人	1,544 人	75.0%

- ・内容
 - 第 1 部 式典
 - ▶ 国歌清聴
 - ▶ 市長激励のことば
 - ▶ 市議会議長お祝いのことば
 - ▶ 新成人代表スピーチ (3 人)
 - 第 2 部 大人の集い (7 人の公募委員による実行委員会が企画運営)
 - ▶ テーマは「Reunion」
 - ▶ 「スライドショー」で 20 年間の思い出を振り返った。
 - ▶ 「お楽しみ抽選会」を実施し、メイド・イン上越の商品等をプレゼントした。

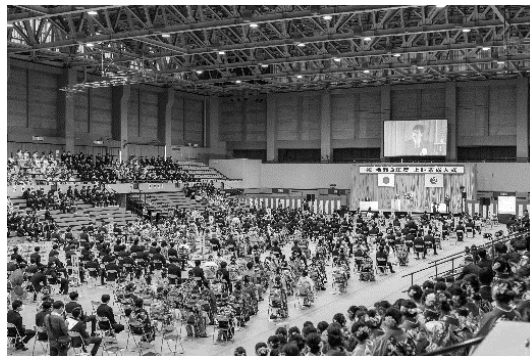
決算書 (P348～P349)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	成人式運営事業		

【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・着付け時間の集中による着付け会場での密を避けるため、午後からの開催に変更した。
- ・来賓は市議会議長のみとし、新成人の家族も含め新成人以外の入場を制限した。
- ・来場者に新型コロナウイルス感染症チェックシートの記入とあわせ、検温、手指消毒の実施、不織布マスクの着用を徹底した。
- ・席の間隔を空けるため2階席も使用した。また受付を屋外としたほか、階ごとに入場口及び順路を設定し、原則、一方通行とした。
- ・オープニングイベント、国歌斉唱、市民歌斉唱など、発声の部分を取りやめた。
- ・新成人への配布物を削減するため、プログラムにQRコードを印刷した。
- ・式典の様子をYouTubeで配信した。(JCVが配信、開催後1か月は閲覧可能)



入口の検温の様子



式典会場の様子

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症への警戒もあり、出席率は57.2%となり、目標の70%は達成できなかった。

【事業の成果】

式典の開催により、新成人に旧友との再会の機会を提供することができたほか、ふるさと上越への思いを深めることができた。また、新成人としての自覚や自立を促す機会とすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後の開催に当たっては、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視するとともに、参加者が安全・安心に出席できるように、感染症対策を講じながら事業を行う必要がある。

【執行残額について】

- 入札差金 79
 - ・消耗品費(記念品) 4
 - ・委託料(会場設営委託) 75
- その他 20
 - ・郵便料、費用弁償ほか

(単位：千円)

決算書 (P348～P349)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会同和教育活動事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,661	2,967		260		3 (諸収入)	2,704
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	694		125		569	

【目的】

- ・白山会館を拠点に学校教職員等対象の現地学習会や研修会等を実施することにより、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深める。
- ・学習会を通して、学力の向上や仲間づくりを図る。
- ・人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に管理運営する。
- ・同和問題を始めとする人権問題に対して市民が正しい理解と認識を深め、差別意識の払拭を図るため、人権を考える講話会の開催や各機関及び団体等が実施する研修会へ講師を派遣することにより、基本的人権が真に保障される地域社会の実現を目指す。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

白山会館事業 630

○令和3年度目標

全ての市立小中学校(70校)が現地学習会を実施する。

○実施内容、これまでの経過等

コロナ禍のため参加人数や夏季休業期間中の参加校の受入れを限定するなどしたが、学校等100団体(市内小中学校71、その他の市内学校10、市外学校13、市内団体3、市外団体3)からの要請を受け、白山会館で差別の現実から学ぶ人権・同和教育の学習会を63回開催し、1,357人が参加した。

○目標達成状況

市立小中学校69校が現地学習会を実施したが、市内の新型コロナウイルス感染症の影響により1校が中止となった。

小中学生学習会 578

○令和3年度目標

学校及び地域の協力を得て、対象児童及び生徒が安心して学習できる環境を整備する。

決算書 (P348～P349)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会同和教育活動事業		

○実施内容、これまでの経過等

5 月から 3 月まで 103 回実施し、延べ 352 人が学習会に参加した。(小学生対象実施回数 60 回・延べ参加人数 227 人、中学生対象実施回数 43 回・延べ参加人数 125 人)

○目標達成状況

学校及び地域の協力により、年間を通じて学習会を開催することができた。

白山会館管理運営 1,534

○実施内容、これまでの経過等

- ・人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に維持管理した。
- ・コロナ禍による施設の利用人数制限を緩和したことから、令和 2 年度に比べ、利用者数は増加した。

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数(人)	3,735	1,904	2,472

市民啓発事業 225

○令和 3 年度目標

- ・市内の 17 小学校区で人権を考える講話会を実施する。
- ・令和 3 年 11 月に当市を中心に開催される第 72 回全国人権・同和教育研究大会に社会教育委員を始めとする各種委員が参加し、人権・同和教育に対する理解と認識を深める。

○実施内容、これまでの経過等

全 48 小学校区を 3 年で一巡する計画であり、16 小学校区において P T A や町内会など地域住民を対象に人権を考える講話会を開催し、459 人の参加があった。なお、団体からの要請に応じて実施する人権に関する研修会の開催はなかった。

○目標達成状況

- ・人権を考える講話会を 16 小学校区で開催した。
- ・第 72 回全国人権・同和教育研究大会は書面開催となったが、大会資料を用いて開催された新潟県同和教育研究大会新潟県報告会への参加により、人権・同和教育に対する理解を深めることができた。

【事業の成果】

現地学習会や人権を考える講話会のアンケートでは、「教師として子どもとかかわる意義、教育する意味とその重要性について、改めて考えさせられた。」「人権と聞くと固いイメージがあるが、子どものいじめや性の問題、ネットなど身近な問題なのだと感じた」、「自分自身が人権を意識していない言動や行動をしていることがあると思知らされた。子どもの手本となれるように人権意識を高く持ちたい」などの感想が寄せられ、参加者の人権に関する意識を高めることができた。

決算書 (P348～P349)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会同和教育活動事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・現地学習会や人権を考える講話会の開催により、同和問題についての正しい理解と認識が深まっているものの、未だに差別がなくなる現状がある。差別解消に向けて、教育及び啓発の果たす役割は極めて重要であり、繰り返し学ぶことで、参加者が学びを深めていけるよう今後も継続して学習の機会を提供していく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、施設利用者及び事業参加者が安全・安心に利用できるように、施設の適切な管理運営等を行う必要がある。

【執行残額について】

- 事業未実施 125
 - ・旅費、消耗品費ほか（各種研修会の中止による）
- その他 569
 - ・報酬、報償費、旅費ほか（会議開催実績等による）

(単位：千円)

決算書 (P348～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年教育活動事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,406	7,452		1,573		4,400 (財源収入、譲収入)	1,479
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,954			42	2,912	

【目的】

- ・青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るため、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携及び協働を推進するための様々な仕組みづくりを進める。
- ・ふるさと上越の魅力ある体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、地域の資源や人材をいかし、グローバル社会に生きる力を育てる。
- ・青少年の健全育成に関わる団体に補助金を交付し、活動の活性化を図ることにより、青少年の健全育成を推進する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

地域学校協働本部事業 2,396

○令和3年度目標

学校と地域との調整役となる地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の資質向上に取り組み、各地域青少年育成会議における学校と地域との連携・協働活動を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・各地域から推薦のあった地域学校協働活動推進員 163 人を委嘱した。
- ・市内の全中学校区に組織されている地域青少年育成会議ごとに配置された地域学校協働活動推進員が、学校と地域との連携・協働のための調整役となり、学校・家庭・地域が一体となった地域ぐるみの教育活動を行った。
- ・地域学校協働活動推進員の資質向上のための新任者研修会を実施したほか、コロナ禍においても Z o o m を活用し、地域学校協働活動推進員と学校関係者との合同研修会を開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域の活動が制限されたが、コロナ禍でも工夫して活動した団体もあった。

○目標達成状況

コロナ禍でも活動した団体への聞き取りを行い、情報を共有することで地域学校協働活動推進員の資質向上を図ることができた。

決算書 (P348～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年教育活動事業		

謙信KIDSプロジェクト 4,400

○令和3年度目標

・参加者の自己目標達成度：95%

○実施内容、これまでの経過等

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し実施したが、令和3年度は講座の定員や開催内容等をコロナ禍以前と同等に戻し、感染症対策を徹底して17講座21コースの講座を実施した。子どもたちの学ぶ意欲と郷土を愛する心の育成を図るとともに、異学年・異学校の仲間づくりを進めた。

<実施講座一覧>

(単位：人)

講座	コース	講座名	主な活動内容	主な活動場所	対象学年	募集定員	申込人数
1	1	うみ (2コース)	水族博物館内探検、貝殻の収集と分類、水生生物観察	水族博物館、柿崎海岸ほか	1～3年	20	157
	20					83	
2	3	ほし (2コース)	夏・秋の星空・惑星観察、プラネタリウム体験、天文工作	上越清里星のふるさと館	1～3年	20	50
	4					20	50
3	5	しぜん (2コース)	川遊び、森遊び、集落探検	地球環境学校	1～3年	20	89
	6					20	57
4	7	しょく	上越野菜の収穫・調理体験、市場の見学	浦川原区・大潟区ほか	1～3年	20	44
5	8	ものづくり (2コース)	木、ワラを使った工作、草木染め体験	市民プラザ	1～3年	15	88
	9					15	44
6	10	ゆき	さいの神、雪遊び	浦川原区	1～3年	20	13
7	11	縄文	土器・石器・勾玉づくり	中郷区	3～6年	25	53
8	12	海	地引網体験、北前船の遺産探検、サケの捕獲体験	柿崎区、桑取川漁協ほか	4～6年	20	59
9	13	ライフライン	電気、水道、鉄道に関する体験学習	正善寺ダム、二本木駅ほか	4～6年	20	36
10	14	城と武将	春日山城跡、福島城跡、高田城跡探検	春日山城跡ほか	4～6年	20	32
11	15	食	みそ作り体験、みそ調理体験	市民プラザ	4～6年	20	55
12	16	星	星座観察、天文工作	上越清里星のふるさと館	4～6年	20	94
13	17	プログラミング	プログラミング体験	市民プラザ	4～6年	20	106
14	18	ワールドツアー	様々な国の言語や文化の体験学習	市民プラザ	4～6年	25	36
15	19	発明(わくわく)	様々な素材の加工による工作体験	上越科学館	2～3年	18	109
16	20	発明(はっけん)			4～6年	18	75
17	21	発明(ひらめき)			5～6年	18	49
合 計						414	1,379

決算書 (P348～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年教育活動事業		

○目標達成状況

参加者アンケートによると、自己目標達成度は98%であり、目標を達成した。



謙信KIDSプロジェクト
「しぜん」の講座の様子



謙信KIDSプロジェクト
「ライフライン」の講座の様子

各種団体補助金 656

○令和3年度目標

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会が行う取組を支援し、団体の自立を促すとともに、家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図る。
- ・子ども交流活動支援事業補助金について十分な周知を図り、利用の促進につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・青少年の健全育成に関わる各小中学校のPTA会員の資質向上や活動の活性化を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会に補助金を交付しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により団体が事業を縮小したことから、補助金を減額交付した。
- ・子ども交流活動支援事業補助金について、市が把握している子ども会483団体のほか22の地域青少年育成会議に事業の周知を図った。

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校PTA連絡協議会の活動が縮小となったが、活動規模に応じた補助を行い、団体の取組を支援することができた。
- ・市内の全子ども会等への周知のほか、広報上越やFM-Jを活用して補助事業の周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、交付実績は4件に止まった。

【事業の成果】

- ・コロナ禍での活動について情報共有することで、地域学校協働活動推進員の活動への意識の向上や地域青少年育成会議間の事業連携について検討を深めることができた。
- ・謙信KIDSプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止となった講座もあったが、おおむね計画どおりに事業を実施できた。参加した子どもたちからは、身近な地域の歴史や文化、産業に触れることができたことや、他校の友達との交流を喜ぶ声が聞かれたほか、アンケートでは参加した子どもたちの95%が「上越市のことをもっと知りたくなった」と答えている。また、保護者の98%が「上越市の豊かな自然や社会などへの興味・関心が深まる機会になった」と回答しており、親子で郷土への愛着を育むきっかけとなっている。

決算書 (P348～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	青少年教育活動事業		

- ・コロナ禍での活動や補助金の在り方について、上越市小中学校PTA連絡協議会と意見交換を行い、団体の自立に向けた話合いができた。
- ・子ども交流活動支援事業補助金では、子ども会だけでなく、地域青少年育成会議にもチラシを送付するなど、事業の周知を図ったが、コロナ禍により申請数は減少した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域と学校をつなぐためには、地域学校協働活動推進員の果たす役割が大きいことから、引き続き、資質向上のための各種研修の機会を設ける。
- ・謙信KIDSプロジェクトの講座内容について、毎年度見直しを行っているが、引き続き社会情勢や参加者のニーズを捉え、子どもたちが楽しく学び活動できる内容となるよう企画していく必要がある。
- ・各種団体補助金の交付実績は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小や活動自粛などから減少しているが、必要な支援を今後も継続していく必要がある。

【執行残額について】

- 入札差金 42
 - ・印刷製本費、委託料
- その他 2,912
 - ・報償費、借上料、郵便料ほか 1,969
(地域学校協働本部事業及び謙信KIDSプロジェクトの実施実績による)
 - ・負担金補助及び交付金 943
(子ども交流活動支援事業補助金 438、上越市小中学校PTA連絡協議会補助金 505)

(単位：千円)

決算書 (P350～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会教育指導員設置費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,828	9,576					9,576
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	252				252	

【目的】

青少年教育や社会同和教育などの社会教育事業に携わる活動団体及び職員への指導や助言、学習相談、団体育成等を行い、社会教育の推進を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

社会教育分野における指導、学習相談、団体育成等のため、社会教育指導員を配置する。

- ・人数 4人(会計年度任用職員)
- ・内容

社会教育事業：青少年教育活動事業等における運営方法の指導・助言、企画・運営補助等

社会同和教育事業：第72回全国人権・同和教育研究大会の啓発、白山会館現地学習会の運営、人権を考える講話会等の市民啓発活動

【事業の成果】

- ・青少年教育活動事業では、社会教育指導員の企画と指導により、子どもたちの学ぶ意欲と郷土を愛する心の育成を図るとともに、規範意識や他者を思いやる心など豊かな人間性を育むことができた。
- ・人権を考える講話会では、社会教育指導員の経験に基づいた分かりやすい説明により、参加者から「多様性を認めて、自分が選択していく社会の実現に向けて、親子で勉強していきたい」、「大人である自分自身が人権を意識していない言動や行動をしていることがあると思知らされる機会となった。子どもの手本になれるように、意識を高く生活できたらいいと思う」等の感想が寄せられており、人権問題や同和問題への正しい理解と認識を深めてもらうことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

社会教育指導員の知識や経験、指導力及び専門性を十分にいかした事業を展開し、社会教育の推進を効果的に行う必要がある。

【執行残額について】

○その他 252

- ・報酬、費用弁償、私有車借上料ほか

(単位：千円)

決算書 (P350～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会教育推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,502	3,259					3,259
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	243				243	

【目的】

- ・社会教育委員による調査・研究や提言などを通して、本市における社会教育を推進する。
- ・視聴覚教育の発展と普及を目指した活動を行っている上越地区広域視聴覚教育協議会の運営を支援する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

社会教育委員 382

○実施内容、これまでの経過等

- ・社会教育委員・公民館運営審議会委員会会議を開催したほか、社会教育に関する研修会や研究大会に参加し委員の資質向上を図った。
- ・社会教育委員による青少年事業や公民館事業などの事業訪問を実施し、事業に対する意見や提案をいただき、事業内容の改善の参考とした。

上越地区広域視聴覚教育協議会負担金 2,877

○実施内容、これまでの経過等

視聴覚教育を推進するため、上越地区 3 市の広域視聴覚教育協議会の一員として運営をつかさどり、保育園及び小・中学校、登録団体等に教材や機材の貸出し等を行った。

【事業の成果】

- ・コロナ禍においても、オンラインを活用した会議開催や研修会への参加などを通じて、社会教育委員・公民館運営審議会委員間の情報共有や意思決定及び資質向上を推進することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策のため令和 2 年度は中止とした社会教育委員による事業訪問を実施し、本市の社会教育事業に対する委員からの意見や提案を把握することにより、充実した社会教育事業の展開に寄与することができた。
- ・各種教材や機材の整備を進めるとともに、協議会で所有している教材や機材の貸出しを行うことにより、上越地区 3 市の視聴覚教育の推進に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・本市の社会教育における現状と課題、目指すべき姿について共通認識を図りながら、社会教育委員が自ら情報交換や意見集約を行える体制を構築する必要がある。

決算書 (P350～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	社会教育推進費		

- ・視聴覚教材・機材の整備やサービスの工夫、改善を加え継続して提供することで、上越地区3市の視聴覚教育の振興を図る必要がある。

【執行残額について】

- その他 243
 - ・費用弁償、負担金ほか

(単位：千円)

決算書 (P350～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	生涯学習推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,157	2,089					2,089
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	68		11		57	

【目的】

- ・学習機会や指導者等の情報を提供することにより、市民の自主的・自発的な学習活動を支援し、生涯にわたる学習活動の充実を図る。
- ・市民に芸能学習活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、芸術や文化活動の振興を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

学習情報提供事業等 1,936

○令和3年度目標

- ・様々な分野で活動している団体や指導者の情報を収集し、市民に提供することで、市民の自主的、自発的な学習活動を支援する。
- ・多様な学習機会の場を提供できる生涯学習団体の新規登録数を8団体以上とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市内の生涯学習活動に取り組む団体・サークルや学習指導者の情報を集約して市ホームページに掲載するとともに、公民館等へのチラシの配置や広報上越を活用し、未登録の団体やサークル及び学習指導者に新規登録を呼び掛けた。
- ・登録されている生涯学習指導者や団体・サークルを3年に一度更新することとしており、令和3年度は、学習指導者登録の更新年であることから、現在登録している指導者に更新の有無を確認したところ、24人から登録解除の申出があり、登録者数は112人となった。
- ・各部署で実施している出前講座の情報を集約して市ホームページに掲載し、市民に紹介しており、令和3年度は758回講座を実施した。

○目標達成状況

生涯学習団体の新規登録数が3団体であったことから、目標を達成することができなかった。

上越市民芸能祭 153

○令和3年度目標

- ・市民芸能祭の開催を通じて多様な芸能に触れる機会を提供する。
- ・参加団体数：104団体

決算書 (P350～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	生涯学習推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

上越市民芸能祭協議会との共催により、部門別に「つどい」を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、合唱部門が中止となった。

部門	開催日	参加団体数	入場者数(人)
民謡・民舞	4月18日(日)	18	248
洋舞	5月22日(土)	6	430
合唱(中止)	7月4日(日)	-	-
古典芸能	11月7日(日)	12	100
ハワイアン・フラ	11月21日(日)	19	400
よさこい		7	150
合計		62	1,328



「洋舞のつどい」の様子



「古典芸能のつどい」の様子

○目標達成状況

合唱部門が開催中止となったことから、参加団体が62団体となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・新規登録数が3団体であり、目標を達成することはできなかったが、生涯学習団体及び学習指導者の情報について令和3年度末の最新の情報に更新するとともに、公民館等に配布し、市民に多様な学習情報を提供することができた。
- ・市民芸能祭は、合唱部門は中止となったが、残りの5部門では2年ぶりに「つどい」を開催し、発表の場と芸能に触れる機会を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生涯学習団体の新規登録数及び学習指導者については登録数が減少している。学習情報の登録件数は、高齢化に伴い団体等の活動休止などにより減少傾向にあるため、引き続き、各種事業の講師や公民館を利用する団体等に新規登録を呼び掛け、持続的に学習機会の場を提供できるよう努める。
- ・市民芸能祭は2年ぶりの開催となったが、練習などの活動が十分にできないことや、近年の参加団体内での高齢化などの要因も相まって、参加団体が減少している。引き続き、協議会と連携して参加団体数の増加に取り組むとともに、入場者数の増加や鑑賞を契機とした生涯学習活動への参加を促進する。

決算書 (P350～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	生涯学習推進事業		

- ・市民芸能祭の開催に当たっては、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じ、参加者が安全に安心して参加できるように、事業を行う必要がある。

【執行残額について】

- 事業未実施 11
 - ・旅費（新型コロナウイルス感染症の影響により各種研修会の中止、上田市民踊まつりの中止）
- その他 57
 - ・交付金、私有車借上料、郵便料ほか

(単位：千円)

決算書 (P350～P351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	美術展覧会事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,954	5,562				958 (手数料、謝収)	4,604
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	392			155	237	

【目的】

- ・市における美術・芸術文化の振興を図るため、新潟県美術展覧会上越展を開催する。
- ・市民に美術・芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術・芸術文化の振興を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

新潟県美術展覧会上越展事業 572

○令和3年度目標

- ・歴史と伝統を持つ県内最大の公募展の巡回展を市内で開催し、市民が優れた美術・芸術文化に触れることのできる機会を提供する。
- ・入場者数：1,710人

○実施内容、これまでの経過等

第75回新潟県美術展覧会上越展

- ・会期 令和3年6月23日(水)～6月27日(日) 5日間
- ・会場 上越市教育プラザ体育館
- ・主催 新潟日報社、新潟県、新潟県教育委員会、上越市教育委員会ほか



会場の様子(県展上越展 開場式)

決算書 (P350～P351)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	美術展覧会事業		

○目標達成状況

2年ぶりの開催ということもあり、多くの市民が鑑賞に訪れ、優れた美術・芸術文化に触れる機会を提供することができた。

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入場者数(人)	1,710	1,679	中止	2,099

上越市美術展覧会事業 4,990

○令和3年度目標

- ・市展が第50回を迎えることから記念企画を実施し、市民の美術への関心を高め、若年層を含めた出品者及び来場者の増加につなげる。
- ・令和2年度の市展が中止となった一方、作品制作期間が十分あることから、50回記念の市展ということも併せて、例年よりも多数の出品を受け付ける。
- ・出品者数：300人

○実施内容、これまでの経過等

(1)市政施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会

- ・会期 令和3年10月2日(土)～10月10日(日) 9日間
- ・会場 高田城址公園オーレンプラザ…日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸・グラフィックデザイン、第50回記念企画特別展(各部門の審査員及び実行委員の作品を展示)
- ミュゼ雪小町 …書道、写真
- ・作品数 330点(出品者数275人、うち18歳未満8人)
- ・部門別の出品者数及び作品数

部門	令和元年度		令和2年度	令和3年度	
	出品者数(人)	作品数(点)		出品者数(人)	作品数(点)
日本画	14	15	-	9	10
洋画・版画	112	123	-	109	115
彫刻・立体造形	11	11	-	11	12
工芸・グラフィックデザイン	21	27	-	23	28
書道	51	53	-	49	52
写真	84	122	-	74	113
合計	293	351	中止	275	330

・入場者数

入場者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高田城址公園オーレンプラザ	2,534	-	2,699
ミュゼ雪小町	1,141	-	1,348
合計	3,675	中止	4,047

決算書 (P 350～P 351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	美術展覧会事業		



会場の様子（オーレンプラザホール）



会場の様子（オーレンプラザスタジオ：
第 50 回記念企画特別展）

(2)上越市美術展覧会 第 50 回記念企画特別展

- ・上越市美術展覧会が今年で第 50 回目を迎えたことを記念し、第 50 回記念上越市美術展覧会の優秀作品 12 点及び市展の歴史を振り返る写真パネルや資料を展示した。
- ・会 期 令和 3 年 12 月 4 日（土）～26 日（日）午前 10 時～午後 4 時 ※月曜休館
- ・会 場 小林古径記念美術館 企画展示室
- ・入 館 料 無料
- ・入館者数 1,207 人（うち、高校生以下 230 人）



会場の様子（小林古径記念美術館企画展示室）

○目標達成状況

出品者数は目標を達成することはできなかったが、第 50 回記念企画特別展などを開催したこともあり、来場者数は前を上回り、市民に創作活動の成果発表の場と、芸術作品に触れる機会を提供することができた。

【事業の成果】

- ・新潟県美術展覧会上越展が 2 年ぶりの開催ということもあり、入場者数は前を上回り、市民が優れた作品を鑑賞し、芸術文化に触れる機会を提供することができた。
- ・上越市美術展覧会の開催により、美術・芸術活動を行っている方々の成果を発表する場を提供することができた。また、出品者数は 275 人と目標は達成できなかったが、2 年ぶりの開催ということもあり入場者数は前年を上回り、市民の美術・芸術活動の振興が図られた。

決算書 (P 350～P 351)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	美術展覧会事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新潟県美術展覧会上越展及び上越市美術展覧会では、入場者数は増加したが、出品数、出品者数が減少傾向にあるため、周知方法を検討する必要がある。
- ・新しい生活様式を取り入れた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者が安全に安心して参加できるように、事業を行う必要がある。

【執行残額について】

○入札差金 155

- ・印刷製本費 87
- ・委託料 68

○その他 237

- ・報酬、費用弁償、消耗品費、郵便料ほか

(単位：千円)

決算書 (P352～P353)	10 款 5 項 1 目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	上越清里星のふるさと館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,066	17,642				1,899 (使用料、財産収入、 諸収入)	15,743
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	424			21	403	

【目的】

- ・天体観測及び天文に関する資料の展示等を通じて環境や自然の大切さを学ぶ機会を提供する。
- ・体験学習を通じて、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・デジタルプラネタリウム及び全天周番組の上映を通じて、学びの意欲を高めてもらうとともに、隕石落下の伝承を始め上越地域の天文教育の拠点にふさわしい学習機会を提供する。
- ・入館者数：5,250人

○実施内容、これまでの経過等

1 入館者数

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計 画	実 績
入館者数	7,572	4,274	5,250	6,815
(うちプラネタリウム利用者数)	(5,307)	(3,045)	(3,675)	(5,239)

2 自主事業等

- (1) 季節や暦に合わせた観望会などの自主事業や出前講座を実施し、隕石落下の伝承を始め、当館及び宇宙についての魅力を広く市民に周知した。
実施した自主事業は、次頁のとおり。

決算書 (P352～P353)	10款5項1目 社会教育総務費	所管課等	社会教育課
事業名	上越清里星のふるさと館管理運営費		

自主事業名	計画回数(回)	実施回数(回)	入館者数(人)
「春」「夏」「秋」の★(ホシ)曜日	3	3	660
観望会(天体観測ドームを活用した夜間天体観測)	80	32	640
出前講座(館以外での天体観測会等)	8	6	194
大人のための天文教室	8	7	102
天体写真に挑戦	8	6	62
親子星空教室	4	4	71
天体写真等展示企画展	1	1	-
星の文化祭	1	1	-
JAXA宇宙を感じる企画展	1	1	-
小惑星 Kushiike(くしいけ)命名記念講演会	1	1	34

※天体写真等展示企画展、星の文化祭、JAXA宇宙を感じる企画展は、館内の一部を使った展示のため、事業個別での入館者数を算出していません。

(2) 保育園、幼稚園向けのプラネタリウム企画のほか、小中学校等の要望に応え、理科の授業に対応した学習プラネタリウムの投影を実施した。

- ・ 保育園、幼稚園、認定こども園 18園、528人
- ・ 小学校 23校、931人
- ・ 中学校 5校、393人
- ・ 高校・大学 2校、61人

(3) 子ども会、公民館事業及び各種団体の研修など、11団体170人の利用があった。

3 施設管理における市の収支状況

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	1,687	1,236	1,661	1,632
	その他	254	202	167	267
	合計	1,941	1,438	1,828	1,899
②支出	施設維持管理費	16,381	17,329	18,066	17,643
	うち委託料	2,053	2,078	1,938	1,938
	その他	-	-	-	-
	合計	16,381	17,329	18,066	17,643
③公費投入額(②-①)		14,440	15,891	16,238	15,744
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		1,907	3,718	3,092	2,310

4 主な修繕の内容

- ・ 空調設備交換修繕 514
事務室の空調設備を交換